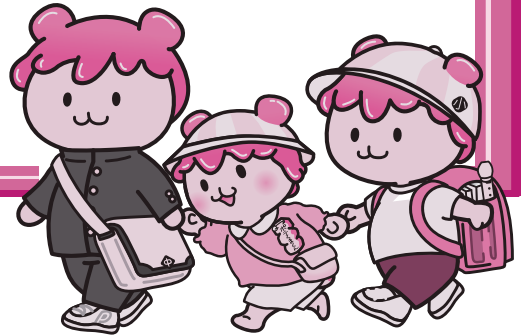


ISS認証校の取り組みを 紹介します！

全国各地で災害や不審者による事件が発生している中で、安全・安心な学校づくりに励むISS（インターナショナルセーフスクール）認証校3校の取り組みを紹介します。



秩父第二中学校

ISSとは、ケガや事故、いじめ、暴力の予防を通じて、生徒たちが安心して学び成長できる環境を目指す活動です。ISS認証校である秩父第二中学校では、安全で健やかな学校づくりを進めるための様々な取り組みを実施しています。主な取り組みをご紹介します。

部活動の活動場所では、生徒と先生が一緒に安全点検を行っています。日常的に部活動で使用する場所の安全を確認することで、事故の未然防止につながっています。



また、生徒会を中心として、朝のあいさつ運動を定期的に行っています。あ

て、生徒同士の絆を深めるとともに、学校全体の雰囲気明るく保つための大切な活動となっています。

さらに、学級委員会や生活委員会をはじめとする9つの委員会があり、それぞれの委員会でISSに関連する取り組みを活動計画に位置づけています。保健委員会では、ケガの発生場所を示した図の作成、ケガ防止のポスター作成や放送での呼びかけを行っています。生活委員会では、安全に登校するためにゆとり登校運動を実施しています。学校全体が一丸となって安全な学校生活に向けて取り組んでいます。

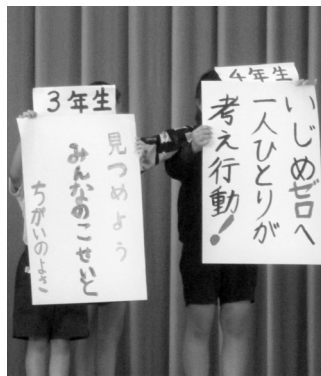


これからも、これらの取り組みを通じて、生徒一人ひとりが安全に学び、成長できる学校を目指します。

花の木小学校

ISSスローガンである「つくろ
うよ！安全・安心 花の木小」を目
指して、次のような取組を行って
います。

まず、本校中央通路にISSスト
リートが設置されています。ここ
は、ISSに関するこれまでのあゆ
みや各委員会からの資料等を掲示し
て、安全・安心に対する意識の向上
と、いじめ防止やけがの予防を啓発
しています。



次に、委員会活動として、ISS
集会等で全校児童に活動内容の呼び
かけや報告をしています。運動委員
会では、遊具の使い方についての動
画を作成し、各教室で動画視聴後注
意点を話し合いました。音楽委員会

では、ISSの歌の動画を作成し、

各教室でその動画を見ながら、みんなで振り付きで歌いました。福祉安全委員会では、各学年に考えてもらった



「人権スローガン」を発表し、ISSストリートに掲示しました。また、今年度はネットに関するルール作りも進めています。放送委員会では、「安全・安心」を意識づける放送を日常的に行っています。

また、休み時間を5分長くして予鈴を鳴らすことにより、落ち着いて廊下歩行を行うことにつながっています。

今後も、児童自ら危険やいじめを回避できる行動を考え、実行できることを目標に、安全への取り組みを続けていきます。

南小学校

①いじめゼロを目指して

☆児童が安心して学校に登校できるように、全児童を対象とした「いじめアンケート」を学期1回、保護者向けの「いじめアンケート」を年1回実施している。そのような取り組みから児童の実態把握に努めるとともに、早期発見・早期対応から見届けまでを入念に行っている。また、週1回の生徒指導情報交換の時間を設け、児童の課題を全校の課題として捉え、全職員で対応にあたっている。

②安全、安心な登下校を目指して



《スクールガードさんによる登校指導》

☆スクールガードさんやPTAの方たちの協力のもと、学校職員と連携して朝の登校指導を

実施している。また、児童の目線から通学路に危険箇所がないか適宜聞き取りをし、交通事故ゼロを目指している。

③児童が主役になる学校づくりを目指して

☆年度始めに、本校の現状や課題を児童が主体となつて捉え、委員会ごとに『PDCAサイクル』に基づき1年間の取り組みを考えている。また、学期ごとに各委員会の委員長と副委員長が集まり『代表者会議』を開き、質疑応答などを通して、お互いの取り組みのフィードバックをしている。さらに、委員会の取り組みを全校児童に発表する『活動報告会』を開催し、全校児童でよりよい学校づくりができるようにしている。



《児童が主役！代表者会議》